



2027年3月期 第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

2026年10月30日

東証プライム
証券コード：7510



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算ハイライト及び主要トピックス

■ サマリー

売上高

635 億円

営業利益

32.0 億円

経常利益

33.6 億円

親会社株主に帰属する
中間純利益

22.5 億円

前年同期比

+21.6%

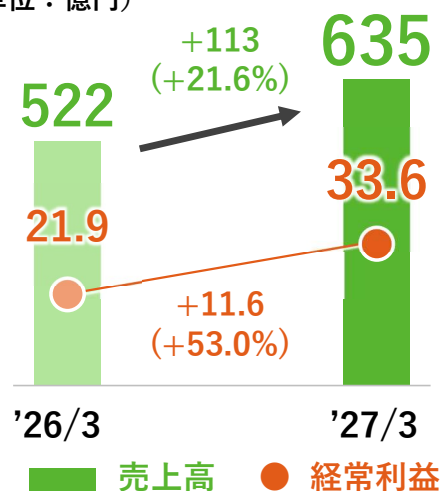
+62.0%

+53.0%

+49.3%

■ 決算ハイライト・主要トピックス

（単位：億円）

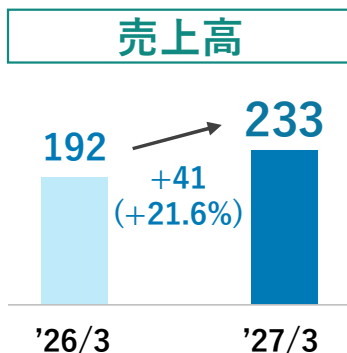


- 売上高・各利益ともに増収増益、上半期として過去最高業績を更新
- AI・データセンター向けや半導体関連の需要を取り込み、
医療ビジネスも伸長するなど、幅広い事業領域で業績が拡大
- 創立100周年記念配当10円を含む、中間配当50円を実施

2027年3月期 第2四半期（中間期）セグメント別 売上高

（単位：億円）

産業機器 システム



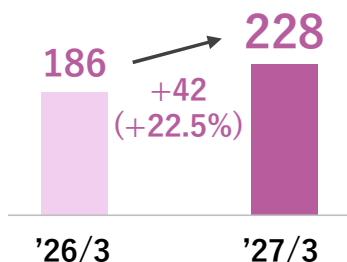
FA機器

- AI・データセンター向けを中心とした半導体関連分野の市場拡大を背景に、製造業の設備投資需要を捕捉し増

装置・産メカ

- 半導体関連製品や電子部品の需要拡大を背景にレーザー加工機が増も、装置システムで前年度の大口案件の反動により減

半導体・ デバイス



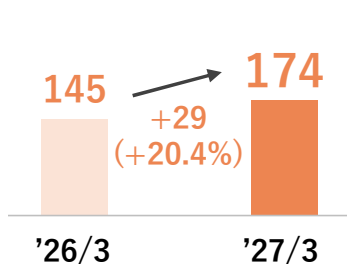
デバイス

- 国内の半導体及び電子部品製造関連向け等で、産業用PC及び電源機器が増
- インド・東南アジアでのデータセンター及び車載関連向け電子部品が堅調に推移

半導体

- パワーコンディショナー及び家庭用蓄電池向けを中心に海外製半導体が増加したものの、前年度の一部顧客向け一括納入案件の反動により減

社会・ 情報通信



電子医療

- 医療用診断装置の販売増に加え、中四国地区への商圏拡大を背景に放射線がん治療装置における保守ビジネスが増

冷住機器

- エアコンの省エネ基準強化を見据えた更新需要や、暑熱対策ニーズの拡大等を背景に空調機器や暑熱対策商材の販売・工事が増

IT

- 主力のスマホ販売・店舗向けアプリの増加に加え、DX・セキュリティ投資需要の取り込みにより、OA機器・セキュリティ商材が堅調に推移

2027年3月期 通期業績予想

- 成長分野における需要の拡大やM&Aの業績寄与を踏まえ、通期業績予想を上方修正
- 中計重点施策の推進及びシナジー創出により事業領域拡大と成長基盤の強化を図る

(単位：億円)

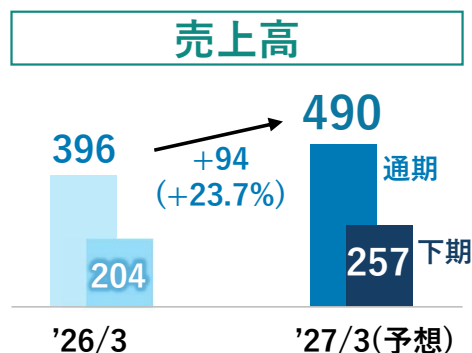
	修正前 (7/31発表)	修正後 (10/30発表)	増減額	増減率
売上高	1,187	1,270	+83	+7.0%
営業利益	48.5	53.0	+4.5	+9.3%
経常利益	51.7	55.0	+3.3	+6.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	34.6	36.2	+1.6	+4.6%

※下半期にはM&A 2社の株式取得に伴う一時費用を見込む

2027年3月期 下期・通期 セグメント別 売上高

(単位：億円)

産業機器 システム



2027年3月期 後半の見通し

FA機器

- '26年10月に連結グループ入りした福井たけびし社が業績に寄与
- AI・データセンター向けを中心とする設備投資需要を引き続き取り込む

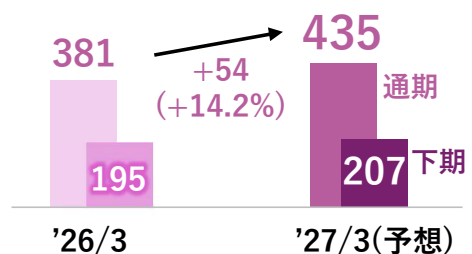
装置・産メカ

- 生産現場の自動化・省人化に向けた設備投資需要を着実に捉え増

再エネ関連

- 系統用蓄電池向け盤システムを中心にエネルギーソリューションビジネスが拡大

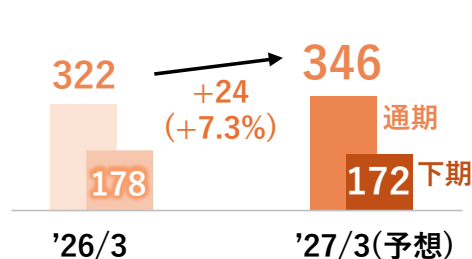
半導体・ デバイス



デバイス

- 半導体及び電子部品製造関連向けの産業用PC・電源機器等に加え、セキュリティ需要の拡大を背景に監視カメラが増
- '26年10月に連結グループ入りした、東南アジアを中心に電子部品及び半導体部品の販売事業を展開するGennex Groupが業績に寄与

社会・ 情報通信



電子医療

- 大口案件の上期偏重の影響があるものの、通期では医療用診断装置及び防衛事業関連向けが堅調に推移する見込み

冷住機器

- 蛍光灯の製造・輸出入禁止を背景としたLEDへの更新需要獲得に加え北陸エリアでの需要開拓・事業拡大により増

重電

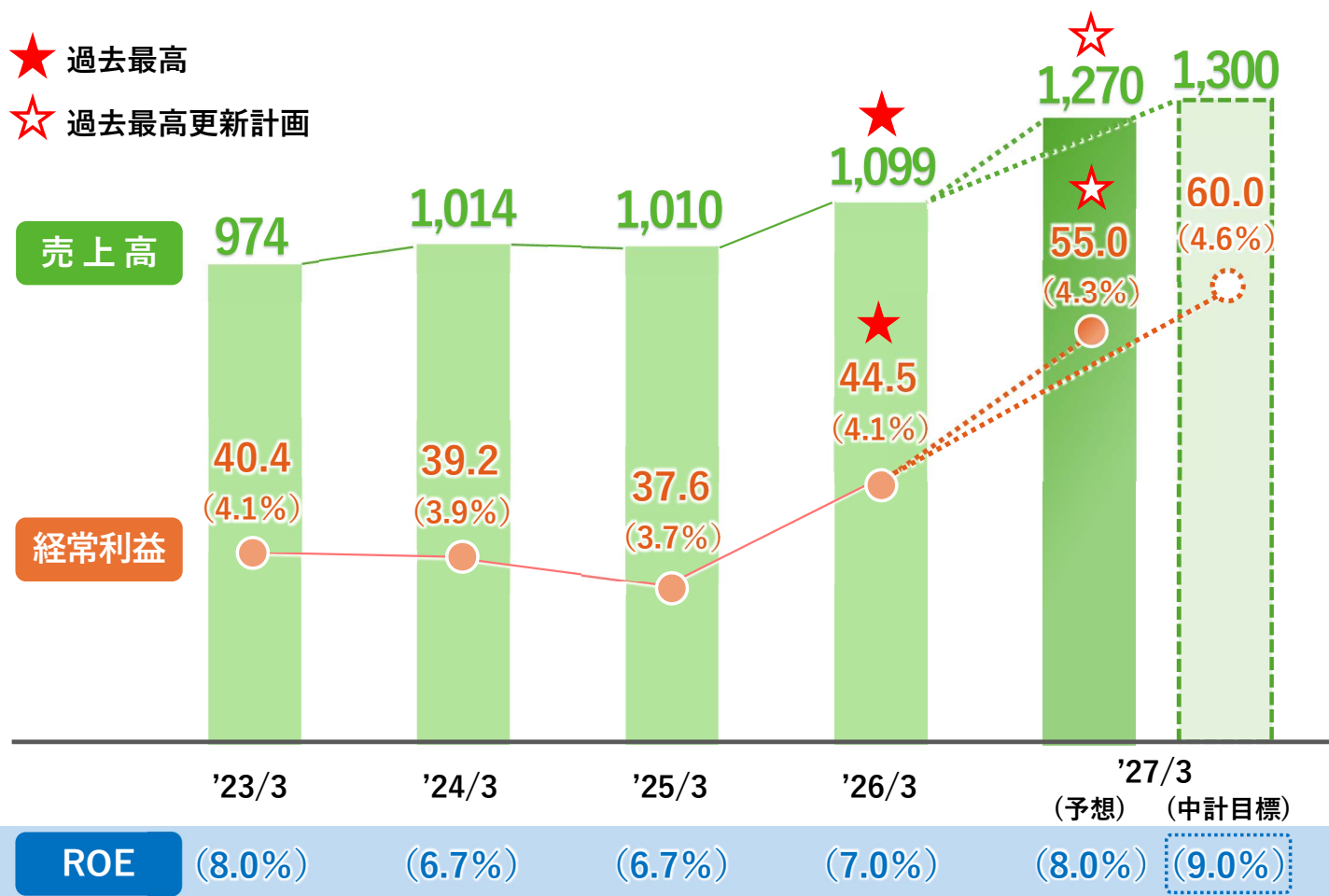
- 設備の老朽化・省エネ化需要に伴う特高変圧器の更新工事が増

業績推移・中期経営計画「T-Link1369」

AI・半導体需要の取り込みと成長戦略・M&Aの推進により、更なる業績拡大を目指す

★ 過去最高

☆ 過去最高更新計画

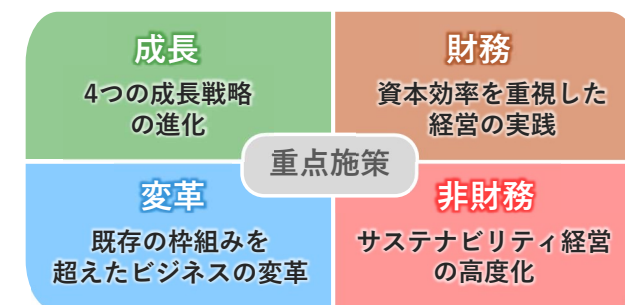


中期経営計画「T-Link1369」

2024年3月期 ⇒ 2027年3月期
4ヵ年計画



連結売上高 1,300 億円
経常利益 60 億円
ROE 9 %



トピックス① 福井たけびし株式会社の連結子会社化

- 2026年10月、「福井三菱電機機器販売株式会社」を「福井たけびし株式会社」として連結子会社化
- 北陸エリアでの顧客基盤の拡大とFA・ビルファシリティ分野における事業領域の更なる強化を図る

福井たけびしの概要

所在地 福井県福井市

事業内容 FA機器、空調設備等の
販売・保守

売上規模 約50億円

 × 福井たけびし

両社の強みを掛け合わせ、北陸エリアでの事業を強化

福井たけびしの強み

■北陸エリアで培った顧客基盤

1984年の創立以来、福井県を中心に製造業のものづくり現場から
商業・公共施設まで、地域に密着した顧客基盤を構築

■三菱電機製品における高い製品知識・提案力

三菱電機の総合代理店として、FA機器に加え
空調・昇降機・セキュリティなどの幅広い分野で顧客課題に応じた技術提案を実施

たけびしグループとのシナジー

両社の顧客基盤・取扱商材に加え、当社の装置ビジネスやオリジナル製品を
組み合わせた『トータルソリューション提案』により事業拡大を図る

▶ 地域に根差した優良な顧客基盤の獲得により、国内事業の更なる成長を推進

トピックス② Gennex Groupの連結子会社化

- 2026年10月、ASEAN地域を中心に電子部品・半導体関連部品の販売事業を展開するGennex Groupを連結子会社化、海外事業の更なる強化を図る

Gennex Groupの概要

所在地 シンガポール・マレーシア・
タイ・フィリピン（4ヵ国7社）

事業内容 電子部品・半導体部品の販売

売上規模 約45百万米ドル（約70億円）



Gennex Groupの強み

■ ASEAN地域に広がる販売ネットワーク

4ヵ国7社の販売ネットワークを通じ、ASEANを中心とした幅広い地域で電子部品・半導体部品の販売事業を展開

■ 幅広い商材と確かな技術提案力

電子部品（コンデンサ、コネクタ等）から半導体関連部品（PCB設計・テスト部材等）まで幅広い商材を取り扱い、技術支援を含めた高付加価値ソリューションを提供

たけびしグループとのシナジー

両社の顧客基盤・技術力に加え、Le Champが有するインド等の拠点を活用した販路拡大と、クロスセルによるASEAN地域での事業拡大を図る



ASEAN地域を中心とした販売ネットワークの拡大により、デバイス事業の更なる成長を推進

株主還元

■ 基本方針

2027年3月期
中期経営計画達成時

配当金

累進配当

配当性向

目標 40% 以上

DOE*

4% 以上

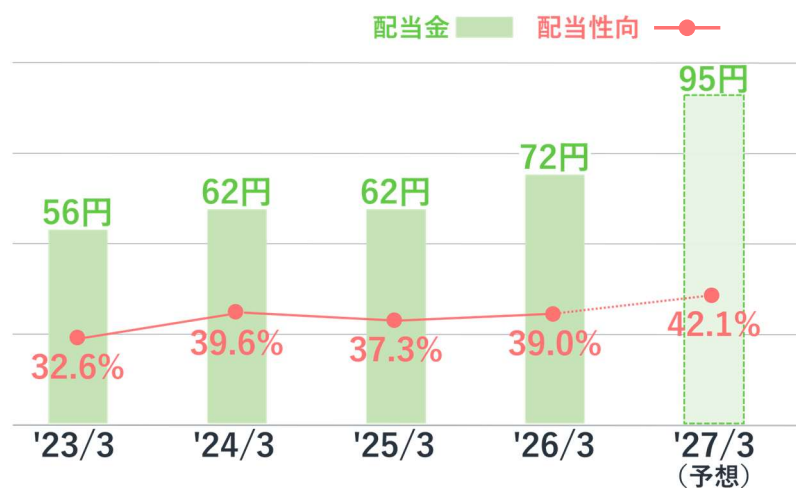
中間配当 50 円／株

普通配当：40円
記念配当：10円

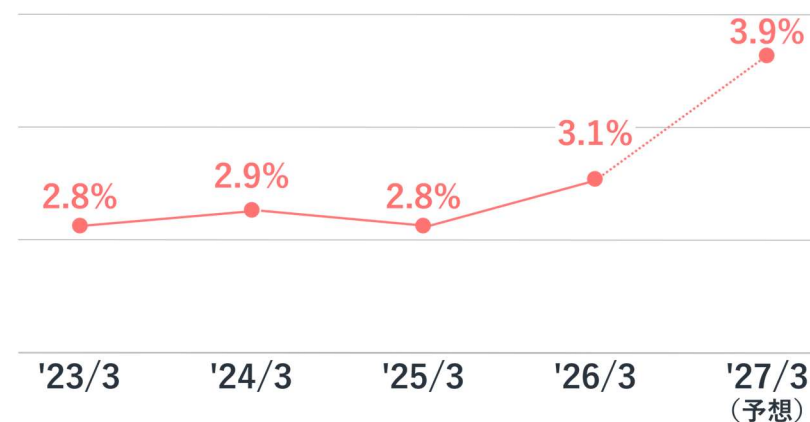
期末配当 (予想) 45 円／株

配当性向 (予想) 42.1 %

配当金・配当性向の推移



DOE*の推移



* DOE (株主資本配当率) = 配当総額 ÷ 株主資本



本資料内の業績及び将来に対する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
実際の結果は、経済環境やその他の様々な要因により、当初の見通しとは異なる可能性がありますことを予めご承知おきください。

- IRに関するお問い合わせ -

株式会社たけびし 経営戦略室 企画部

<TEL> 075-325-2118

<お問い合わせフォーム>

<https://www.takebishi.co.jp/inquiry/ir/>